

「横浜の魅力をつなぐ・拡げる取り組み」

1 都市ブランド向上につなげる魅力発信

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

Inspire Your Soul

Find Your YOKOHAMA

「あうたびに、あたらしい Find Your YOKOHAMA」(英語版: Inspire Your Soul)
「OPEN YOKOHAMA」の理念を土台に、市民の皆様や横浜を訪れる方々に、常に新しい発見やワクワクする高揚感、感性が磨かれる感覚を提供していくことを、言葉に表したスローガン。

「OPEN YOKOHAMA」

「開放的でいろいろなものを受け入れる
横浜の良さ」や、「これからも開放的で明るい横浜で
ありたいという未来像」をイメージしたロゴ



こうした都市ブランドを、文化芸術の取組を通じて醸成していくとともに、映像の持つ訴求力を活かして広く発信しています。

2 文化芸術創造都市の取組

(1) つなぐ

～文化芸術に触れる機会を増やし、人と人を文化でつなぐ取組～

ア ヨコハマ・パラトリエンナーレ事業、日中韓都市間交流事業

障害・人種・国籍・宗教・年齢・性別等の様々な違いを超えて創造的に課題解決を図るとともに、誰もが対等な関係で関わりあい、社会や組織に参画する「クリエイティブ・インクルージョン」の考えに基づき行っています。

イ 地域文化サポート事業、文化施設運営事業

市民が文化に触れる機会を増やし、誰もが表現者となれるよう文化活動をサポートすることで、人と地域を文化でつなぎます。

【裏面有】

(2) 引き出す

～横浜に根付く魅力やシビックプライド、次世代の創造性を引き出す取組～

ア 芸術文化教育プログラム推進事業、MICE次世代育成事業

あらゆる場面を通じて、あらゆる世代の創造性を育む「クリエイティブ・チルドレン」の考え方にに基づき行っています。

イ 創造界限形成事業、アーツコミッション事業

文化芸術の持つ創造性によって、開港以来、横浜という街を形作ってきた歴史的な資産・建築物の魅力を引き出します。

(3) 惹きつける

～横浜の街を舞台に、文化芸術の力で世界の人々を惹きつける取組～

スマートイルミネーション事業、横浜トリエンナーレ事業、横浜芸術アクション事業

横浜らしい特色ある文化芸術の発信と国際交流の展開により、アジアを中心とした文化芸術ハブ都市を目指します。

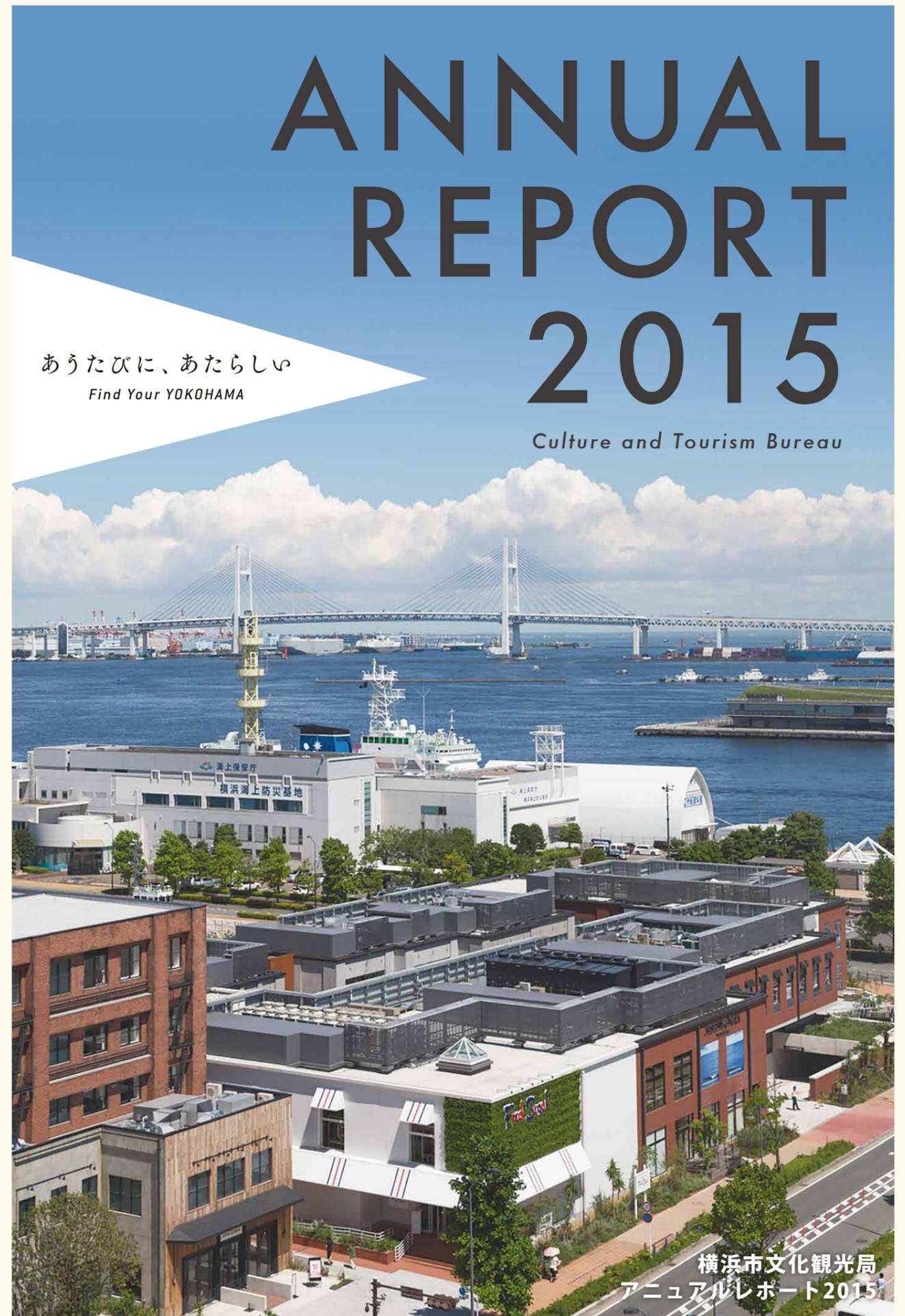
あうたびに、あたらしい
Find Your YOKOHAMA



横浜市文化観光局
横浜魅力づくり室企画課
横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル6階

TEL:045-671-4123
Fax:045-663-7880

Web:www.city.yokohama.lg.jp/bunka/
E-mail:bk-kikaku@city.yokohama.jp



はじめに

ごあいさつ

文化観光局は発足以来5年間にわたり、局のみならず、他局そして事業者の皆様等々とのシナジーを大切に、共感力(エンパシー)を持って課題に取り組みながら、常に現状をデータで把握・分析し、真摯にPDCAサイクルを機能させてまいりました。

その結果、横浜を訪れる観光客数は国内、海外ともに過去最高を更新し続けており、まさに「あうたびに、あたらしい」横浜の様々な魅力が世界に届きはじめていると実感しています。

今後、予定されている第50回アジア開発銀行年次総会や様々な国際会議、更にはラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックという好機を捉え、都市ブランドのさらなる向上を図るとともに、そのレガシーを次の時代へと受け継いでいかなければなりません。

そのために、未来を担う次世代育成や多様性を認め合う社会の実現に、文化芸術のもつ創造性を活かして、新たな都市の魅力や活力につなげる「クリエイティブ・チルドレン」「クリエイティブ・インクルージョン」という2つの方針(ポリシー)を掲げ、各施策に取り組んでいます。

文化観光局一丸となり、着実な一歩を積み重ね、「選ばれる都市 横浜」の実現へと歩みを進めてまいります。

横浜市文化観光局長
中山 こずゑ

トピックス

横浜が踊り出す！

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2015 を開催



横浜ダンスパレードの様子 Photo:bozzo

横浜の「街」そのものを舞台にしたダンスフェスティバルとして、2度目の開催となった、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2015。

誰もが参加できる大規模な市民参加型プログラム「横浜ダンスパレード」を皮切りに、横浜ならではの景観を活かした野外舞台公演、横浜オリジナルの盆ダンス、世界的に活躍する舞踊団の来日公演など216ものプログラムを展開しました。

このうち、横浜アーツフェスティバル実行委員会が主催・共催するプログラムにおいて、100万人以上の方にご来場いただきました。

※パートナー事業を含めた総来場者数は約371万人

企業 × クリエイターが示す 新しいビジネスの可能性！

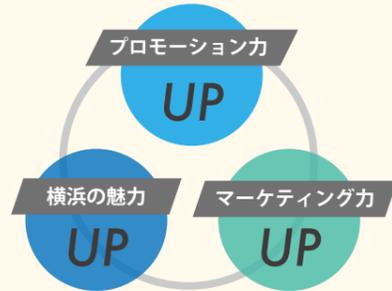
「クリエイティブ・ショーケース」



クリエイティブ・ショールーム

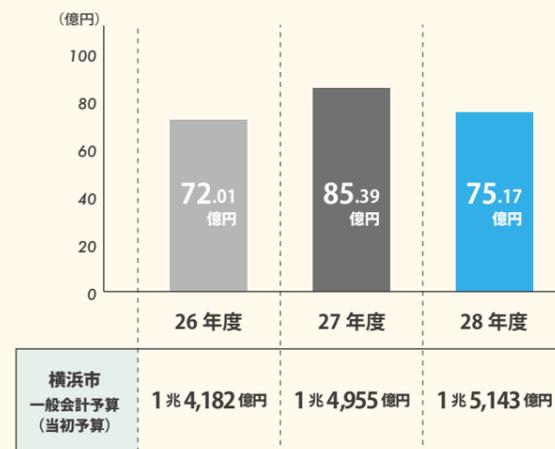
新しいビジネスのきっかけを作り、市内経済の活性化につなげるため、市内企業とクリエイターを結ぶことを目的としたイベントを開催し、ものづくり企業の技術×クリエイターのアイデアで試作したプロダクトの展示や、セミナー・ワークショップ等を実施しました。その後、開発した商品等を展示するショールームをYCC 横浜創造都市センターに開設し、市内企業とクリエイターのコラボレーションにつなげています。

目標達成に向けた3つのアップ



データとPDCAサイクルによる確かな業務執行を基盤とし、3つのアップを連動させ、更なる賑わいと経済活性化につなげます。

文化観光局の予算



文化観光局の組織



新たなMICE施設整備事業の契約締結



MICE市場規模の世界的な拡大や、横浜での開催需要に対応するため、本市のMICE拠点施設であるパシフィコ横浜の隣接地(みなとみらい21中央地区20街区)に、新たなMICE施設を整備します。27年度は、PFI事業者を選定し、事業契約を締結しました。

32年4月の運営開始を目指して、事業を進めています。

横浜市への観光客3,761万人、 外国人宿泊者数72万人過去最高を更新



ヨコハマカワイパーク

27年(1月～12月)の観光集客実人員は、前年比309万人(9%)増の3,761万人となり、過去最高を記録しました。また、27年(1月～12月)の外国人延べ宿泊者数は、前年比22万人(43%)増の72万人となり、同じく過去最高を記録しました。これからも、国内外からの誘客を促進するため、多言語化など受入環境を強化し、時宜を捉えた戦略的なプロモーションを展開します。(詳細はP5)

※観光集客実人員：横浜市内の宿泊施設や観光施設等の利用者数を基に算出

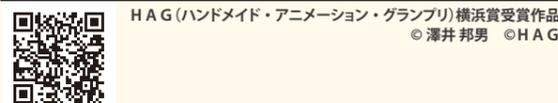
※この冊子では、年度は原則として元号での表記とし、そのうえで、元号を略しています。
例：平成27年→27年

プロモーション

ブランドスローガン

歴史あるものを大切に守りつつ、いつも新しい発見があり、感性が磨かれる感覚と、ワクワクする心の高揚が感じられる街、横浜。そんな横浜のブランドイメージを高めていくためのスローガンを定め、映像を中心としたプロモーションを展開しています。

■横浜プロモーションアニメ(キャプチャー)

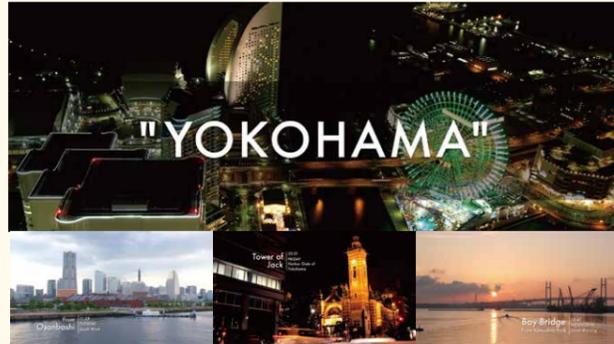


HAG(ハンドメイド・アニメーション・グランプリ)横浜賞受賞作品
© 澤井 邦男 © HAG

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

■横浜プロモーション動画



One Day of YOKOHAMA

重点プロモーション事業

横浜ブランドの形成につながり、重点的に情報発信するものを「重点プロモーション事業」として選定、効果的かつ集中的なプロモーション事業を展開しています。

《27年度重点プロモーション事業選定基準》

- ① 「横浜といえばこれ」となり得るもの
- ② 集客力のある(今後見込める)イベント
- ③ 全国(首都圏)に発信すべきもの
- ④ 27年度に全国的に注目を集めるイベント
- ⑤ 認知率・来訪率は低い、推奨率の高い、プロモーション効果の大きい施設

27年度重点プロモーション事業			
事業内容	メディア掲載情報件数	広告価値換算	来場者人数
2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会	694件	13億4,778万円	273,200人 (観戦者数)
Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2015	2,828件	14億3,319万円	1,063,325人 (主催・共催の合計)
横浜 JAZZ PROMENADE 2015	386件	3億409万円	150,500人
横浜マラソン 2016	817件	15億7,110万円	約650,000人 (沿道応援者数)
フォト・ヨコハマ 2016	516件	3億3,862万円	408,215人
よこはま動物園ズーラシア	1,095件	34億2,064万円	1,216,132人
クルーズ客船入港	665件	35億8,559万円	-
横浜山手西洋館	461件	12億2,064万円	1,115,073人
合計	7,462件	132億2,165万円	4,876,445人



2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会

インターネットの活用

観光、文化芸術、創造都市の分野では WEBサイトを活用し、積極的な情報発信に取り組んでいます。

■ウェブサイトアクセス数

	25年度	26年度	27年度
横浜観光情報サイト	21,753,081件	26,637,717件	25,220,014件
ヨコハマ・アートナビ	3,295,567件	2,872,315件	3,729,987件
創造都市横浜	1,555,143件	1,803,316件	1,455,324件

ワタシの横浜とりっぷ

首都圏をはじめ国内の広範囲で、横浜ファンの獲得及び都市ブランドイメージの向上を図るため、ミニ番組「ワタシの横浜とりっぷ」を放送しました。ブランドスローガン「あうたびに、あたらしい Find Your YOKOHAMA」をテーマに、街の景観や食、歴史や文化など様々な横浜の魅力を、大人の女性目線で美しく描く構成としています。

BS-TBS

27年10月7日(水)~12月23日(水)
毎週水曜日 20:54~21:00

J:COMテレビ(再放送)

27年10月13日(火)~12月29日(火)
毎週火曜日 20:54~21:00

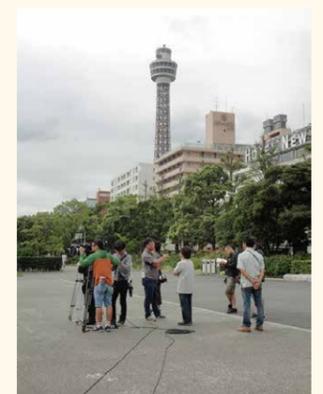


横浜フィルムコミッション事業

横浜のシティプロモーションや観光客誘致を目的として、映像作品のロケ支援及びロケ受入のための環境整備を行っています。

■横浜フィルムコミッションで支援した主な作品

	タイトル	公開(放映)期間	公開媒体
映画	さらばあぶない刑事	28年1月30日 公開	全国主要映画館
	シン・ゴジラ	28年7月29日 公開	全国主要映画館
テレビドラマ	まれ	27年3月30日~9月26日	NHK総合
	THE LAST COP	27年6月19日~7月24日	日本テレビ、hulu
	デート~恋とはどんなものかしら~2015夏 秘湯	27年9月28日	フジテレビ
	世界一難しい恋	28年4月13日~6月15日	日本テレビ
	全カクイズ ヨコハマ謎解き捜査網!	27年8月18日	NHK総合
情報番組	じゅん散歩	27年11月30日	テレビ朝日
	ぶらぶら美術・博物館	28年3月11日	BS日テレ

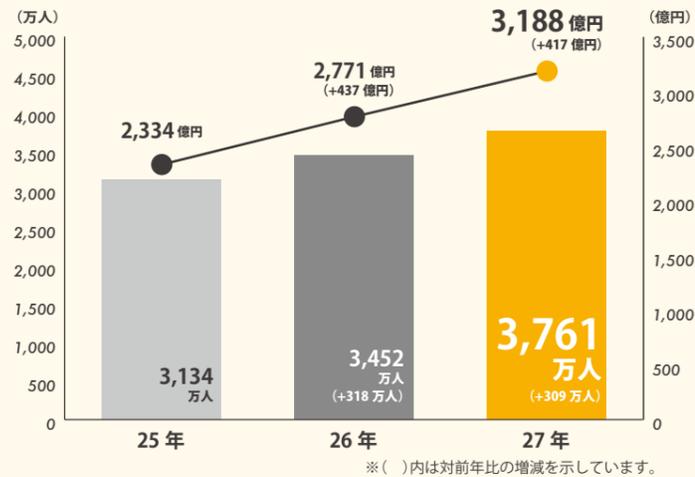


©フジテレビ

にぎわい

過去最高の集客実人員と観光消費額

観光集客実人員の総数は、3,761万人、観光消費額 3,188億円。算出開始(21年)以来、過去最高となりました。

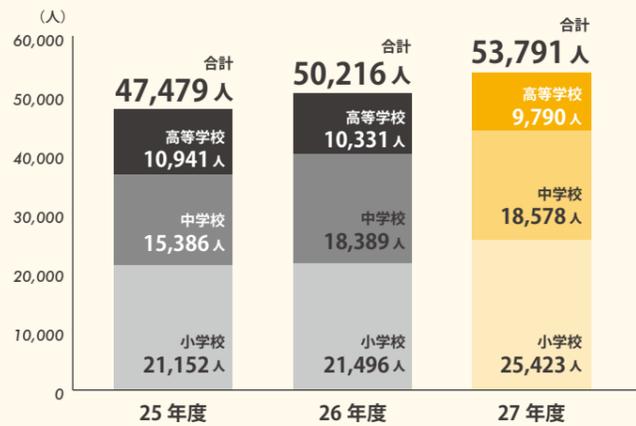


ヨコハマフリージングフェスト

※観光消費額は観光集客実人員に平均消費額を乗じて計算しています。
※平均消費額は27年度横浜市観光動態・消費動向調査により算出しています。

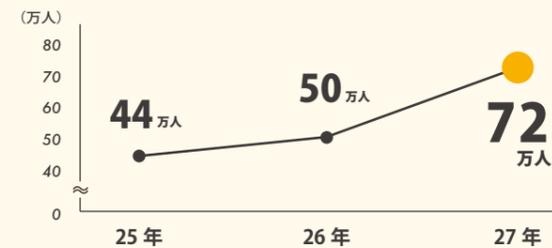
増える修学旅行生

20年度に2万人台だった修学旅行宿泊客数は、北陸新幹線の開通に合わせた地方セールス等の効果もあり、過去最高となりました。「修学旅行で素敵な思い出を作り、また、横浜に来てもらいたい」という、将来を見据えた効果的な誘客活動を(公財)横浜観光コンベンション・ビューローと連携し行っています。



訪日外国人は増加傾向

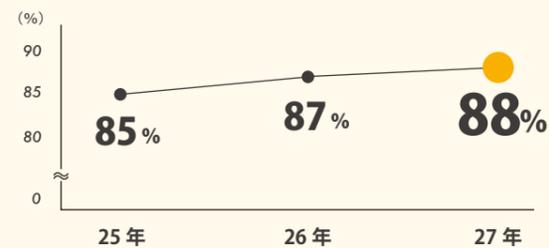
■市内外国人延べ宿泊者数



東南アジア諸国における査証緩和や海外旅行需要の拡大などにより、訪日外客数は1,900万人を超え、市内においても過去最高の宿泊者数72万人を記録しました。

市内主要ホテルは高稼働

■市内主要ホテルの稼働率



市内の主要ホテルの稼働率は、27年も80%台後半の高稼働となり、過去最高値となりました。

「横濱001」の新たなおみやげライン ▶ヨコハマハイカラレーベル

横浜の地域ブランドで、ヨコハマ・グッズ「横濱001」の新たな「おみやげライン」「ヨコハマハイカラレーベル」を立ち上げました。また、27年10月から28年2月まで羽田空港国内線第1旅客ターミナルに「ヨコハマハイカラレーベル」10商品を中心とした横浜みやげのショップをオープンさせ、さらなる「横濱001」のブランド価値の向上に向け、広くPRしました。

引き続き、市内外の観光案内所や店舗などで「ヨコハマハイカラレーベル」をはじめとする横浜みやげを発信していきます。



羽田空港ショップの様子

▶訪日外国人誘客 (海外現地プロモーションと滞在環境整備)

横浜市はアジア8地域(中国、韓国、台湾、香港、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア)を対象として、各地域の特性に合わせた誘客プロモーションを行っています。27年度は映像やSNSなどのメディアを活用したプロモーションのほか、各地域で開催される訪日旅行フェア・商談会等に出展し、観光地としての横浜の魅力を発信しました。

また、外国人旅行者が横浜での滞在をストレスなく楽しめるよう滞在環境の整備も引き続き行っています。外国人旅行者の関心が高まっている「食」について、株式会社ぐるなびと「訪日外国人旅行者受入環境整備に関する連携協定」を締結し、市内飲食店における多言語メニューの導入促進や、多言語でのレストランガイドの作成などに取り組んでいます。



タイ訪日旅行フェア横浜市ブース

▶横浜を舞台とする作品を活用したツーリズム

横浜市は映画やテレビドラマなどの舞台として、多くの作品のロケ地となっていることを生かしたフィルムツーリズムを展開しています。最近では、連続テレビ小説「まれ」や映画「さらばあぶない刑事」、テレビドラマ「世界一難しい恋」などの作品と連携し、周遊マップやポスター等を作成して誘客に取り組んでいます。

また、ゲーム、アニメなどとの連携も進めています。ゲーム「三国志」をテーマにした取組では、スマートフォンを活用したモバイルスタンプラリーを行いました。さらに、アニメ「文豪ストレイドッグス」をテーマに文化施設等を巡るスタンプラリーを行い、若い方が文化施設を訪れるきっかけにもなりました。

これらの取組を通して、多くの方にロケ地や関連スポットを巡っていただき、回遊性の向上につながりました。



左:映画「さらばあぶない刑事」周遊マップ ©2016「さらばあぶない刑事」製作委員会
右:アニメ「文豪ストレイドッグス」スタンプラリーシート ©2016 朝霧カフカ・春河35 / KADOKAWA/文豪ストレイドッグス製作委員会

国際的なMICE拠点都市横浜へ

横浜市は、国際的な調査、統計を行っている国際団体連合(UIA)の国際会議統計(26年)において、開催件数49件となり、世界第35位(国内3位)となっています。

また、主要なMICE施設であるパシフィコ横浜は、施設別国際会議参加者総数で10年以上1位となっています。開設から20年を超え、施設の老朽化対策と競争力強化が必要となったため、25年から大規模改修にも着手しています。



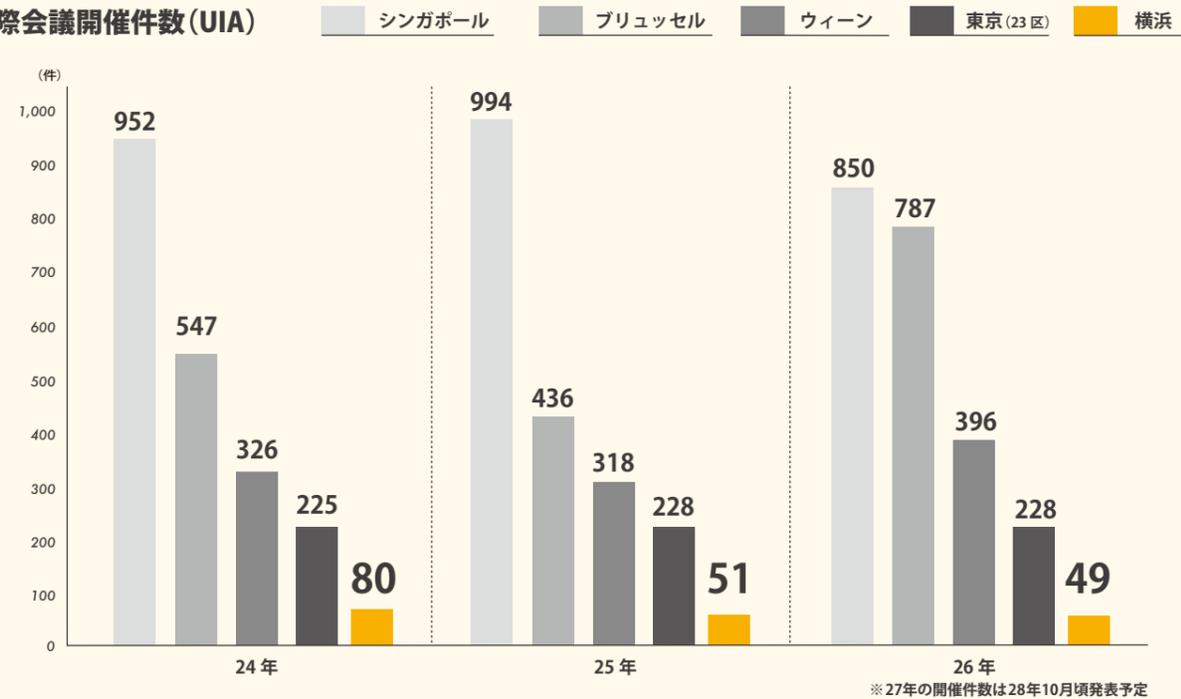
第11回ICMアジア太平洋地域会議・助産学術集会(27年7月開催)

■コンベンション施設別国際会議参加者総数ランキング

	24年	25年	26年
1位	パシフィコ横浜	パシフィコ横浜	パシフィコ横浜
2位	福岡国際会議場	大阪国際会議場	大阪国際会議場
3位	国立京都国際会館	福岡国際会議場	東京ビッグサイト
4位	神戸国際展示場	国立京都国際会館	国立京都国際会館
5位	大阪国際会議場	東京ビッグサイト	神戸国際展示場

日本政府観光局統計より作成
※27年のランキングは28年11月頃発表予定

■国際会議開催件数(UIA)



■誘致により開催が決定した主な国際会議(27年度誘致)

会議名	会期	日数	参加者数(人)	うち海外参加者数(人)
Stadia & Arena Asia Pacific	28年(2016年)9月26日~9月28日	3日	500	300
分子生物学と進化の国際学会 SMBE2018年年次大会	30年(2018年)7月8日~7月12日	5日	1,000	360
国際ソロブチミストアメリカ連盟大会	30年(2018年)7月26日~8月4日	10日	4,000	1,200
国際溶射会議	31年(2019年)5月26日~5月29日	4日	1,200	600
地球化学とリモートセンシング国際会議	31年(2019年)7月28日~8月2日	6日	1,400	1,100

イベントによるにぎわいづくり

地域の魅力を活かした話題性・集客性の高い大規模集客イベントの開催・共催と、民間等が行うイベントへの支援を通じて、横浜のイメージアップと集客を図っています。



ザよこはまパレード

イベント名	開催期間(27年度)	集客者数(人) ※主催者発表による		
		25年度	26年度	27年度
ヨコハマ大道芸	4月18日(土)~19日(日)	410,000	700,000	780,000
ヨコハマ大道芸 in みなとみらい 21	4月18日(土)~19日(日)	470,000	520,000	540,000
野毛大道芸	4月25日(土)~26日(日)	370,000	180,000	400,000
ザよこはまパレード	5月3日(日・祝)	350,000	350,000	350,000
横浜開港祭	5月30日(土)~31日(日)、 6月2日(火)	750,000	800,000	750,000
横浜セントラルタウンフェスティバル	5月29(金)~31日(日)	1,059,926	882,733	1,010,992
横浜スパークリングトワイライト	7月18日(土)~19日(日)	220,000	388,000	410,000
横浜 JAZZ PROMENADE	10月10日(土)~11日(日)	146,000	151,000	150,500
ワールドフェスタ・ヨコハマ	10月10日(土)~11日(日)	330,000	300,000	260,000
黄金町バザール	10月1日(木)~11月3日(火・祝)	14,409	43,447	12,456
新横浜パフォーマンス	10月17日(土)~18日(日)	185,000	305,000	298,000
スマートイルミネーション横浜	10月30日(金)~11月3日(火・祝)	80,000	184,000	216,000
フォト・ヨコハマ 2016	28年1月~3月	429,678	465,073	408,215

▶ 第50回アジア開発銀行年次総会横浜開催をPR

29年(2017年)に横浜で開催する「第50回アジア開発銀行(ADB)年次総会」に向け、28年(2016年)5月にドイツ・フランクフルトで開催された第49回年次総会において、次回開催都市としてPRを行うとともに、第50回年次総会のロゴ及びテーマ「Building Together the Prosperity of Asia」を発表しました。

今後も引き続き、財務省や神奈川県、地元の経済界・関係団体、市民ボランティア等と連携して準備を進め、併せて市民の理解・関心を深める様々な取組を行います。



第49回年次総会でのロゴ発表の様子

文化芸術によるまちづくり

-文化芸術創造都市-

アーツコミッション・ヨコハマ

横浜に集うアーティスト・クリエイター、NPO、市民、企業、学校など様々な創造活動の担い手をサポートし、より活動しやすい環境をつくることを目指しています。

アーティスト・クリエイターのワンストップ窓口として、創作や発表の場所などの様々な相談・情報提供、創造活動やスタジオ開設に対する助成、創造都市横浜の情報発信などを行っています。また、アーティスト・クリエイターの仕事を公開するイベントも行っています。



© 関内外 OPEN17
「コンテンポラリーズ：親子で馬車道におうちをつくらう！」

■アーティスト・クリエイターのための事務所等開設支援助成

25年度	26年度	27年度
5件	13件	10件

海外との交流

■アーティスト・イン・レジデンス

アーティスト・イン・レジデンスは、アーティストの滞在型創作活動です。アーティストは、滞在先の文化や歴史、地域の人々に触れ、刺激やインスピレーションを得て、新たな創作活動に向けた原動力とします。創造界隈拠点[※]において、15の国や地域と事業を実施しています。地域の人々は、制作のプロセスや発表に関わることで、創造的な活動に触れる機会となります。

※P14参照

■日中韓都市間交流事業

「東アジア文化都市 友好協力都市協定」に基づき、27年度も中国泉州市、韓国光州広域市と文化芸術を通じた交流を行いました。Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2015の開幕イベント「横浜ダンスパレード」に両市の舞踊団を招いたほか、横浜市からは両都市で実施したイベントに「ハマこい」の団体を派遣しました。



金美淑ルーツ韓国舞踊団 Photo: 張穎



泉州歌舞劇団 Photo:bozzo



地域文化サポート事業 (ヨコハマアートサイト)

地域課題の解決につながる文化芸術活動をサポートするため、文化芸術の持つ創造性をコミュニティやまちの活性化と結びつける活動等を広く公募し、支援する事業です。

25年度	26年度	27年度
19件	20件	29件

スマートイルミネーション

環境に配慮した最先端の省エネルギー技術とアーティストの持つ創造性を融合させ、これまでにない新たな夜景の創造を試みる「環境未来都市・横浜」ならではのアートイベントです。



SMART ILLUMINATION YOKOHAMA 2015
Photo: Hideo Mori

創造的産業振興モデル事業「texi」

市内中小企業が持つ高い技術力 (technic) とクリエイターのアイデア (idea) をかけあわせ、商品開発・販路開拓をサポートすることで、新たなビジネス機会の創出に取り組んでいます。

27年度は、横浜の地域ブランド「texi」としてドイツ・フランクフルトの国際見本市「アンビエンテ」に商品を出展するなど、本格的な販路開拓支援を始めました。



国際見本市「アンビエンテ」

創造的活動の新たな場づくり

■スポーツ×クリエイティブをテーマに創造的産業と賑わいを創出する「旧関東財務局」

市の指定有形文化財である旧関東財務局を、新しい創造的な活動拠点とするために、耐震補強等の工事を行っています。「株式会社横浜 DeNA ベイスターズ」が活用事業者となり、28年度には創造的産業を集積し、賑わいの創出及び経済の活性化につながる中核施設としてオープンする予定です。



■大人の部活が生まれる、街のシェアスペース「BUKATSUDO」

「大人の部活が生まれる街のシェアスペース」をコンセプトとして、横浜ランドマークタワードックヤードガーデンの一角に26年度に誕生しました。コーヒーレッスンやカメラ講座など多彩な活動が行われています。民間事業者が所有する歴史的建造物を活用した、公民連携による新しい創造的な活動拠点として注目されています。



イベント「文化祭」での餃子パーティー

▶ クリエイティブ・インクルージョン

「誰もが、障害・人種・年齢・性別等にとらわれず、社会や組織に参加する機会を“文化芸術”の有する力(可能性)により提供する」という考えのもと、取組を進めています。

■特色のある芸術フェスティバルの開催

横浜らしい特色のある芸術フェスティバルとして、横浜トリエンナーレ、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA、横浜音祭りを毎年順番に開催し、街に賑わいを創出しています。

28年度は、横浜の「街」そのものを舞台に、音楽ジャンル、世代、ジェンダー、プロとアマチュア、障害の有無にかかわらず、だれもが楽しめる「スーパーユニバーサル」をコンセプトとした音楽祭「横浜音祭り2016」を開催します。

■ヨコハマ・パラトリエンナーレ

“障害者”と“多様な分野のプロフェッショナル”が協働し、新しい芸術表現を生み出していく現代アートの国際展として、26年に初開催しました。29年の次回展に向けて、人材育成等を進めています。



横浜音祭り2016記者発表会の様子



ヨコハマ・パラトリエンナーレ2014 Photo:427FOTO

クリエイティブ・チルドレン

横浜市のクリエイティブ・チルドレンの取組

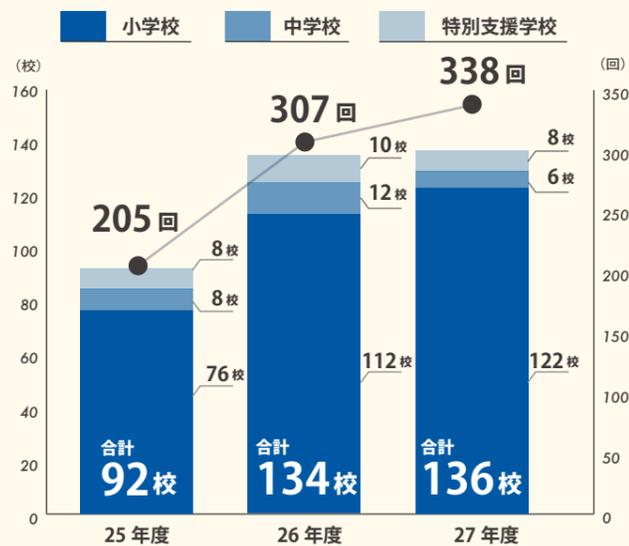
横浜市はこれまでも文化振興、創造都市、観光MICEの分野において、次世代育成のための取組を重点的に行ってきました。今後、一層の充実に向けた「クリエイティブ・チルドレン」の取組を進めます。地域、学校、行政、企業等が一体となり、あらゆる場面を通じて、子どもたちの創造性を育む取組を展開します。

また、MICEを活用した国際的に活躍する研究者との交流や学校では体験できない特別な実習、アーティスト・クリエイターの活動の場づくりや支援など、次世代の育成を行います。

これらの取組により、次世代を担う「クリエイティブ・チルドレン」が横浜をはじめ世界で活躍し、新しい文化芸術創造都市、観光・MICE都市横浜のブランドの確立につなげます。

芸術文化教育プログラム推進事業

次世代を担う子どもたちの表現力やコミュニケーション力を育成するため、アーティストによる芸術文化の体験ができる授業を実施しています。文化施設や芸術団体の専門スタッフがコーディネーターとなり、学校の先生・アーティストと一緒に授業づくりを行うことで、各学校の目的に沿った効果的なプログラムを実施しています。



芸術文化教育プログラム推進事業動画

「山の中で出会ったもう一人の自分」
横浜市立下田小学校 (港北区 / 美術 / 体験型)



ヨコハマハコいりムスメプロジェクト (大佛次郎記念館活性化プロジェクト)

大佛次郎記念館の施設活性化を図るため、「若い世代へ大佛次郎を伝える」「施設の魅力を再発掘する」「地域・大学・企業との連携」をテーマとして、3年(25年度～27年度)にわたり様々な取組を行いました。27年度は、記念館を舞台とした謎解きゲームの開催、「オサラギジェンヌ[®]」によるSNS発信、文庫本を使った世界最大級のモザイクアート等のイベントを実施しました。3年間の活動により館と地域とのつながりが強化されるとともに、施設の発信力が高まり、入館者数の増加につながりました。

※記念館と横浜の街をPRする女子大学生。



MICE次世代育成事業

国際会議等の開催に合わせ、国内外で活躍する研究者等を講師に迎え、市内の児童・生徒を対象とした講演やワークショップなどの講座を開催しています。27年度は、「水素安全国際会議(ICHS)」や「第25回日本MRS年次大会」などの関連事業として7講座を開催しました。



「話題の水素エネルギーを体験しよう!」(27年10月開催)

映像文化都市次世代育成事業

本市が誘致した東京藝術大学大学院映像研究科が有する高度な映像表現知識・技術を駆使して、教授が講師を務める、小中高生を対象とした映像鑑賞教育(こどものためのシアター)や、幼児から小学生までを対象としたアニメーションのワークショップを実施しました。



クリスマス・アニメーション・ワークショップ

▶ 若い研究者の育成に貢献

世界各国から800名の医師等が参加した「第12回国際定位放射線治療学会学術大会」では、会議に参加したスーパードクターが、高校生・大学生を対象に世界最先端がん放射線治療について講演を行いました。当講座に参加した2名の高校生が受講をきっかけとして、大学医学部に進学するなど、次世代を担う若い研究者の育成に貢献しました。



「スーパードクターが語る!世界最先端がん放射線治療の今」
(27年6月開催)

▶ 若手演奏家が横浜に集う

■ クラシック・ヨコハマ

国内最高峰の学生音楽コンクールである全日本学生音楽コンクール全国大会を中心に、コンクールに出場した若手演奏家に演奏機会を提供し、市民の皆さまに身近な場所で音楽を楽しんでいただける音楽イベントを約3か月にわたり開催しました。



そごう美術館でのミュージアムコンサートの様子

■ 国際音楽セミナー

(ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン/MMCJ)

横浜みなとみらいホールに世界各地から若手演奏家が集い、合宿形式でのセミナーの創設者である指揮者のアラン・ギルバート氏や大友直人氏ら世界的な演奏家から指導を受けるとともに、その成果を発表するコンサートを開催しました。



MMCJオーケストラコンサート(撮影: K.Miura)

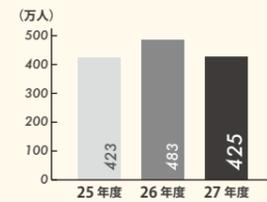
基礎情報

主要施設一覧

都心臨海部を中心に、文化・芸術・観光等の様々な施設を所管しています。各施設の概要と入場者数は次のとおりです。

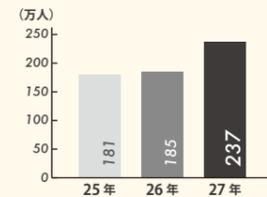
観光・MICE 施設

パシフィコ横浜



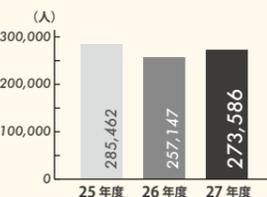
5,000人まで収容できる国際会議場、2万㎡の展示ホールとホテルが一体となった大規模複合 MICE 施設。国際観光・MICE 都市の実現を目標とする横浜市の中核的 MICE 拠点。

横浜アリーナ



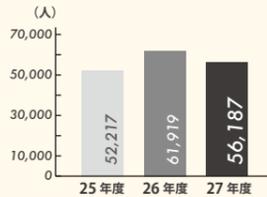
最大1万7千人を収容し、コンピューター制御の可動観客席でイベント内容に合わせた効果的なフロアを作り出すことができるメインアリーナを持つ大規模多目的ホール。

横浜マリンタワー



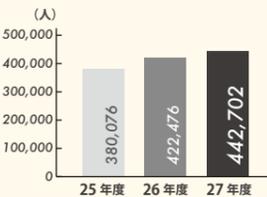
開港150周年を記念して、21年5月にリニューアルオープン。94mの展望台、カフェ、レストラン、横浜のお土産ショップ等を備えた観光交流施設。

横浜人形の家



世界100か国以上、1万点以上の民族人形と郷土人形を収蔵。人間国宝の平田郷陽の作品等貴重な人形や世界のスピリチュアルな人形などを展示。

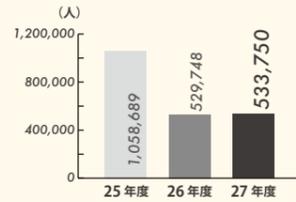
三溪園



京都や鎌倉などから移築された歴史的に価値の高い建造物(重要文化財10棟・横浜市指定有形文化財3棟等)が巧みに配置された約17万5千㎡の日本庭園。

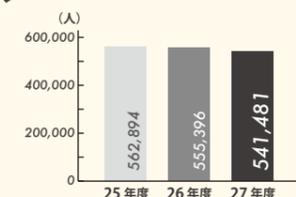
文化施設

横浜美術館



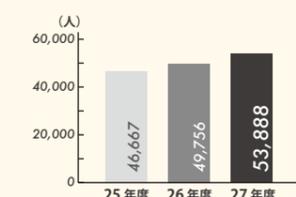
近代以降の美術作品約1万1千点を所蔵。7つの展示室のほか、多彩なワークショップを行うアトリエなどもそろい国内でも有数の施設。

横浜みなとみらいホール



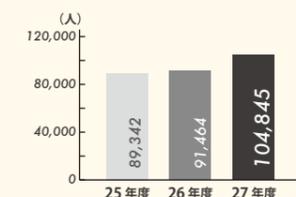
大型のパイプオルガンを設置した大ホール(2,020席)があり、国内外から海が見えるコンサートホールとして親しまれており、幅広い層に向けた音楽事業を実施。

横浜能楽堂



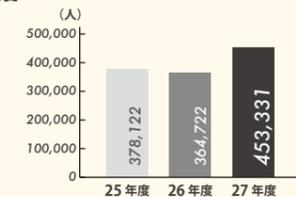
約140年の歴史がある能舞台で、能・狂言に加え、多彩な古典芸能も意欲的に上演するほか、子ども向けのワークショップ事業等、幅広い観客に能楽等の魅力を知ってもらう事業を実施。

横浜にぎわい座



栈敷席・ベンチ席を含む391席の芸能ホールがあり、落語・漫才・講談・浪曲など、大衆芸能の拠点として、多彩な演目を上演。

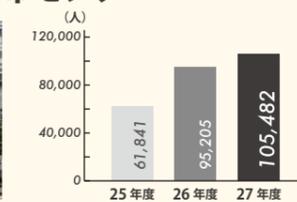
横浜赤レンガ倉庫1号館



大正2年竣工の倉庫を活用したホール・展示スペースからなる施設で、コンテンポラリーダンスや現代美術をはじめとした文化活動を展開。

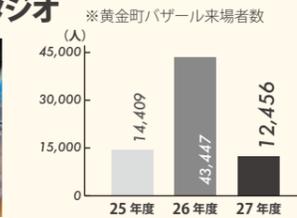
創造界隈拠点

YCC ヨコハマ創造都市センター



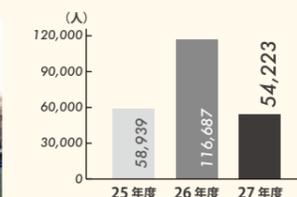
歴史的建造物「旧第一銀行横浜支店」を活用し、市民が日常的に訪れるクリエイティブなスペースをつくり、創造都市横浜への理解・共感を高め、企業・市民・地域等との協働を推進。

黄金スタジオ・日ノ出スタジオ



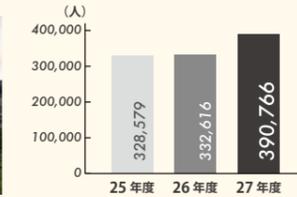
京浜急行電鉄高架下のスタジオをアーティストや地域住民の活動の場として活用し、アートによる地域再生まちづくりを推進。

BankART Studio NYK



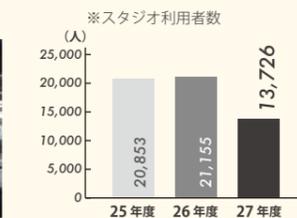
倉庫だった建物をリニューアルし、ホールやギャラリー空間等を備えたオルタナティブスペースとして創造的活動を発信。

象の鼻テラス



開港150周年事業として、21年6月に開館。象の鼻パーク内に、アートスペースを兼ね備えたレストハウスとして整備された、文化観光交流拠点。

急な坂スタジオ



結婚式場だった建物を舞台芸術の稽古場としてリニューアル。新たな人材の発掘・育成の拠点として、公演の制作サポート等も実施。

▶ 横浜能楽堂



お話：中村昌弘(シテ方金春流) 撮影：神田佳明

視覚・聴覚等の障害者の方に対する様々なサポート体制を整えた公演「バリアフリー能」により、「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞。

▶ 大佛次郎記念館



スタンドグラスの光が差し込むサロン

横浜で生まれ、「霧笛」等、横浜を舞台にした作品を多く書いた作家・大佛次郎を貴重な資料で紹介している他、レトロな洋風建築と、愛猫家の大佛が集めた猫の置物が魅力の施設。

▶ YCC ヨコハマ創造都市センター



ファブラボワークショップの様子

27年6月に新たな運営団体により、施設内にカフェ・ギャラリーやショールーム、ファブラボが開設され、誰もが気軽に集い、新しい可能性に出会える場として運営開始。

基礎情報

文化観光局の所管施設一覧

施設名称	住所	電話番号	ホームページ
創造界隈拠点			
YCC ヨコハマ創造都市センター	中区本町 6-50-1	045-307-5305	http://yokohamacc.org/
BankART Studio NYK	中区海岸通 3-9	045-663-2812	http://www.bankart1929.com/
黄金スタジオ・日ノ出スタジオ	中区日ノ出町 2-158	045-261-5467	http://www.koganecho.net/
象の鼻テラス	中区海岸通 1	045-661-0602	http://www.zounohana.com/
急な坂スタジオ	西区老松町 26-1	045-250-5388	http://kyunasaki.jp/
横浜市映像文化施設 (東京藝術大学大学院映像研究科 3 校舎)	中区本町 4-44 (馬車道校舎)	045-650-6200	http://www.fn.m.geidai.ac.jp/
芸術文化施設			
横浜美術館	西区みなとみらい 3-4-1	045-221-0300	http://yokohama.art.museum/
横浜みなとみらいホール	西区みなとみらい 2-3-6	045-682-2020	http://www.yaf.or.jp/mmh/index.php
横浜能楽堂	西区紅葉ヶ丘 27-2 掃部山公園内	045-263-3055	http://ynt.yafjp.org/
横浜にぎわい座	中区野毛町 3-110-1	045-231-2525	http://nigiwaiza.yafjp.org/
横浜赤レンガ倉庫 1 号館	中区新港 1-1-1	045-211-1515	http://www.yokohama-akarenga.jp/
横浜市民ギャラリー	西区宮崎町 26-1	045-315-2828	http://ycag.yafjp.org/
横浜市民ギャラリーあざみ野	青葉区あざみ野南 1-17-3	045-910-5656	http://artzamino.jp/
横浜市民文化会館 関内ホール	中区住吉町 4-42-1	045-662-1221	http://kannaihall.jp/
鶴見区民文化センター (サルビアホール)	鶴見区鶴見中央 1-31-2 シークレイン内	045-511-5711	http://salvia-hall.jp/
神奈川区民文化センター (かなっくホール)	神奈川区東神奈川 1-10-1	045-440-1211	http://kanack-hall.info/
港南区民文化センター (ひまわりの郷)	港南区上大岡西 1-6-1 ゆめおおおか中央棟 4 階	045-848-0800	http://www.himawari-sato.com/
旭区民文化センター (サンハート)	旭区二俣川 1-3 二俣川ライフ 5 階	045-364-3810	http://www.sunheart.info/
磯子区民文化センター (杉田劇場)	磯子区杉田 1-1-1 らびすた新杉田 4 階	045-771-1212	http://www.sugigeki.jp/
緑区民文化センター (みどりアートパーク)	緑区長津田 2-1-3	045-986-2441	http://www.m-artpark.com/
青葉区民文化センター (フィリアホール)	青葉区青葉台 2-1-1 青葉台東急スクエア South・1 本館 5 階	045-985-8555	http://www.philiahall.com/html/
戸塚区民文化センター (さくらプラザ)	戸塚区戸塚町 16-17 戸塚区総合庁舎内	045-866-2501	http://www.totsuka.hall-info.jp/
栄区民文化センター (リリス)	栄区小菅ヶ谷 1-2-1	045-896-2000	http://www.lilis.jp/
泉区民文化センター (テアトルフォンテ)	泉区和泉中央南 5-4-13	045-805-4000	http://theatre-fonte.com/
吉野町市民プラザ	南区吉野町 5-26	045-243-9261	http://yoshinoplaza.jp/
岩間市民プラザ	保土ヶ谷区岩間町 1-7-15	045-337-0011	http://iwamaplaza.jp/
大倉山記念館	港北区大倉山 2-10-1	045-544-1881	http://o-kurayama.com/
長浜ホール	金沢区長浜 114-4 長浜野口記念公園内	045-782-7371	http://www.nagahama-hall.com/
久良岐能舞台	磯子区岡村 8-21-7 久良岐公園内	045-761-3854	http://www.kuraki-noh.jp/
陶芸センター	中区本牧三之谷 59-3 本牧市民公園内	045-623-8904	http://www.yokohamasitugecenter.com/
大佛次郎記念館	中区山手町 113 港の見える丘公園内	045-622-5002	http://osaragi.yafjp.org/
ST スポット	西区北幸 1-11-15 横浜 ST ビル B1 階	045-325-0411	http://www.stspot.jp/
観光・MICE 施設			
パシフィコ横浜	西区みなとみらい 1-1-1	045-221-2155	http://www.pacifico.co.jp/
三溪園	中区本牧三之谷 58-1	045-621-0634	http://www.sankeien.or.jp/
横浜マリントワー	中区山下町 15	045-664-1100	http://marinetower.jp/
横浜人形の家	中区山下町 18	045-671-9361	http://www.doll-museum.jp/
横浜アリーナ	港北区新横浜 3-10	045-474-4000	http://www.yokohama-arena.co.jp/

横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方

24年12月、文化観光局は、「文化芸術振興」と「創造都市施策」を一体的に促進し、さらなる相乗効果を発揮するため、「横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方」を策定しました。

＜基本理念＞

- 人々の活力や創造力の源泉であり、市民生活の向上につながる文化芸術の振興を図ります。
- 文化芸術のもつ創造性を様々な施策に生かして、コミュニティの活性化を図るなど、創造的なまちづくりを進めます。
- 横浜の社会資源を生かした創造的な取組や、人々に感動を与える文化芸術の展開により、賑わいづくりと経済の活性化につなげます。

横浜市中期 4 か年計画 2014 ～ 2017

横浜の未来を切り拓いていくため、根幹となる政策の方向性を共有することにより、あらゆる方々の知恵や力の結集、様々な主体との協働などを通して、オール横浜で※「横浜市基本構想(長期ビジョン)」の実現を目指していくための計画です。そのうち、文化観光局に関連する主な施策は次のとおりです。

※横浜の 20 年(概ね 2025 年頃)を展望した市政の根本となる指針。

観光・MICE の推進(施策 23)

＜目標・方向性＞

- オリンピック・パラリンピックの開催決定を好機ととらえ、国内外における横浜のプレゼンスやブランド力を高めるためのシティプロモーションを展開します。
- 国内外からの誘客を強化し、観光客の受入環境や回遊性の一層の向上により、賑わいと活力を創出します。
- パシフィコ横浜と一体的に新たな M I C E 施設を整備するとともに、経済波及効果の高い中大型の国際会議や医学会議等をターゲットとした積極的な誘致などの取組を進め、「グローバル M I C E 戦略都市」にふさわしい、国際的な M I C E 拠点都市を目指します。

	指標	直近の現状値	目標値(29 年度末)
1	国際会議開催件数(U I A 基準)	51 件(25 年)	75 件/年
2	外国人延べ宿泊者数	44 万人(25 年)	60 万人/年
3	観光消費額	2,334 億円(25 年)	2,475 億円

文化芸術創造都市による魅力・活力の創出(施策 24)

＜目標・方向性＞

- 市内全域で市民の文化芸術活動の支援を充実するとともに、子どもたちの文化芸術体験の機会の提供、新進アーティストの発掘・育成・支援により、次世代育成を進めます。
- 横浜の地域資源を活用し、アーティスト・クリエイターの集積を創造的産業の振興につなげ、創造性をいかしたまちづくりを進めます。
- 横浜トリエンナーレをはじめ、横浜らしい特色のある芸術フェスティバルの継続的な開催や「東アジア文化都市」の取組を通じ、アジアの文化ハブとして、国内外へ横浜の魅力を発信します。

	指標	直近の現状値	目標値(29 年度末)
1	横浜美術館及び横浜みなとみらいホールの首都圏からの来訪率※1 (本市を除く県内及び東京都、埼玉県、千葉県)の平均値)	横浜美術館 14.9% MM ホール 15.6% (25 年度)	横浜美術館 17% MM ホール 17%
2	芸術文化教育プログラム推進事業 学校プログラム実施回数	205 回(25 年度)	280 回
3	創造界隈拠点(4 拠点)※2 の市内認知率	40.1%(25 年度)	50%

※1 本市が実施する調査において「これまでに施設に訪れたことがある」と回答した方の割合

※2 創造界隈拠点(4 拠点): YCC ヨコハマ創造都市センター、BankART Studio NYK、象の鼻テラス、黄金スタジオ・日ノ出スタジオ